

## 団体名・歴舟川の清流を守る会（大樹町）

**事業名：歴舟川流域における水環境保全に向けた取組**

**事業概要：**大樹町の歴舟川流域一帯で、①魚道・河川敷清掃、②ヤマメ稚魚放流、③水生生物等の生きもの・水質調査、④カムイコタン歴舟の森パンフレット作成、カムイコタンの森での体験学習

歴舟川の清流を守る会は、北海道e-水プロジェクト助成金で、歴舟川流域における環境保全事業を実施しました。

5月23日（日）は、歴舟川上流域の魚道清掃、中流域の河川敷清掃を実施しました。会員20名が参加し、河川敷に捨ててあるゴミを拾い、その後、上流域に移動し、魚道に引っ掛かっている枝などの除去を実施しました。6月6日（日）は、歴舟川の水質調査を実施しました。会員10名が参加し、①尾田橋、②ふるさと大橋、③歴舟大橋、④豊里川との合流点、⑤芽武川との合流点の5か所で行い、水素イオン濃度（pH）などが基準値を満たすなど、いずれもきれいな水であることが確認されました。6月12日（土）は、歴舟川上流域にてヤマメ稚魚放流を実施しました。会員8名が参加し、体長10センチ前後の稚魚7000匹をバケツで放流しました。7月4日（日）は、歴舟川大樹橋上流左岸の支障木除去を実施しました。会員30名が参加し、大樹橋下から上流に向かって約200メートルほどの間を草刈り機やかまを使い、河原に茂った草を刈り取りました。8月11日（水）は、歴舟川の水生生物調査を実施しました。会員の有岡繁さんを講師に、実際に川に入り、川底の石をひっくり返すなどし、大きさ数ミリのヒラタカゲロウなどを捕まえました。生物指標で最もきれいな水質に分類され、子どもたちは川の清流ぶりを実感していました。10月28日（木）は、カムイコタン歴舟の森における体験学習を実施しました。会員の他、十勝西部森林管理署の職員などが講師を務め、森林の役割や、森と川と海のつながりの説明を受け、散策路を歩いて樹名などを学びました。11月11日（木）は、北海道e-水プロジェクト記念講演会を実施しました。会員など40名が参加し、講師に北海道立林業試験場の長坂有氏を迎え、「河畔の生き物のつながりから見た流域環境保全」と題した講演をしていただきました。

今回の事業を実施したことにより、多くの町民に歴舟川に関心を持ってもらうことができ、改めて環境保全の意識が高まりました。また、今回、初めて実施した水生生物調査では、多くの子どもたちに歴舟川にふれる機会を提供することができ、カムイコタンの森での環境学習と合わせて、次の世代に引き継いでいく基礎となるものができたと考えております。しかし、町民約6,100名に対し、会員数70名、事業への参加延人数が約200名と、まだまだ活動の幅を広げて行く必要があると認識しています。

くしくも、11月に公表された平成21年度公共用水域水質調査において、歴舟川上流域が平成12年以来、9年ぶりの日本一に輝きました。これを更なる契機として、今後とも地道ながらも着実な活動を展開していきたいと考えております。

